

仙台市長選挙立候補予定者へのアンケートを実施して

2017年7月5日(水)

脱原発仙台市民会議事務局

女川原発再稼働・石炭火力・放射能汚染廃棄物問題のアンケート実施

私達は、2015年4月26日に発足した「脱原発仙台市民会議」です。2011年3月の東京電力福島第一原発事故によって、宮城県も放射能汚染地帯となりました。この東京電力福島第一原発事故をきっかけに原発に関心をもった24団体300個人が市民会議に参加しています。

福島事故から6年以上経過しましたが、今でもその影響が残っています。にもかかわらず東北電力は2018年以降被災原発である女川原発2号機の再稼働をめざしています。

仙台市は女川原発の再稼働についてその可否の判断を求められる立場にはありませんが、東北電力の大株主として毎年株主総会で原発再稼働に対する賛否を問われる立場にあり、また石巻市や東松島市の避難住民を受け入れる立場から原子力災害地域防災計画に対して発言権があり、かつ県内の半分の人口を有する仙台市市長の判断は県内の原子力政策に大きく影響するものです。そういう仙台市長を7月選挙するのですから、原発問題を含むエネルギー政策についてのアンケートを立候補予定者4名にお願いしました。あわせて放射能汚染廃棄物の焼却問題についても質問しました。すると4名の予定者全員から回答がありました。選挙前のお忙しいところ御回答頂いた候補者の皆様に感謝いたします。

アンケート結果は、仙台市政記者クラブで発表させていただくほか、当仙台市民会議のブログ(<http://datugenpatu3777.jimdo.com/>)および市民会議入会団体(風の会や女性ネット)のブログ等で紹介させていただきます。

女川原発再稼働ではそれぞれの立場を強調

まず女川原発再稼働についての質問では、廃炉が大久保氏、慎重対応が郡氏、規制基準の強化を求めるが林氏、国の政策に言及しないが菅原氏と、それぞれの意見が分かれました。

原発事故の避難計画については、実効性の検証必要が郡氏、実効的な避難計画の策定必須が林氏と、民進党に所属していた2人の意見が重なりました。

原発の将来像

エネルギー政策上の原発の将来像を問う質問では、原発ゼロが郡氏、原発の比率を減らすが大久保氏・林氏、国のエネルギー政策(原発20~22%)に賛成するが菅原氏。

原発ゼロ・比率を下げると回答された3人は、その期限について「2030年までに」と共通の期限を記載しています。

放射能汚染廃棄物焼却問題でも、違いが鮮明に

6月18日の市町村長会議で「放射能汚染廃棄物を仙台では燃やさない」方針が宮城県村井知事から提案されました。それでも「焼却処理しても問題がない」と、大久保氏と菅原氏の2人

が回答。林氏は「埋設処分」という新提案をしています。この新提案は「地下水汚染」を引き起こしかねないものです。郡氏は「保管方法を含む検討」を提案しています。

石炭火力誘致・進出問題も意見分かれる

石炭火力発電所問題で「仙台市に石炭火力やバイオマス発電所の誘致はしないし、進出にも反対」と表明した人は郡氏ただ一人。林氏は「厳しい環境基準の制定」を求めています。大久保氏は「できてしまったので有効活用・安定運用」、菅原氏は「現段階で申し上げる事はない」としています。

以上がアンケート結果で、それぞれの主張が鮮明になったと思います。仙台市民はこの回答をよく読んで、だれに投票すべきか、しっかり考えてほしいと思います。

以上

脱原発仙台市民会議

参加団体名(順不同)

女川原発の廃炉をめざす泉区西部の会、放射能と向き合う会 in 泉パークタウン、みやぎ脱原発・風の会、宮城県うたごえ協議会、つばさ薬局泉店、長町病院、新日本婦人の会宮城県本部、新日本婦人の会泉支部、宮城民主医療機関労働組合、宮城県医療労働組合連合会、宮城県母親大会連絡会、泉病院、泉病院友の会、宮城高教組仙台北支部、東北民主詩人の会、年金者組合宮城野支部、ケアステーションいずみ、宮城県民主医療機関連合会、仙台市教職員組合、つばさ薬局長町店、きらきら発電、長町アクション、女性ネットみやぎ(子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ)、新日本婦人の会塩竈さつき班

呼びかけ人・賛同人

篠原弘典(みやぎアクション)・水戸部秀利(若林クリニック)・岡崎トミ子(元国会議員)・葛西友彦(みやぎ金曜デモ)・多々良哲(あいコープみやぎ)・北村龍男(北村クリニック)・水尻強志(長町病院)・小澤かつ(宮城県母親大会連絡会)・大場拓俊(石神町内会)・館脇章宏(みやぎ脱原発・風の会)・岡村朋子(宮城県うたごえ協議会)・今田隆一(医師)・砂子啓子(i - くさのね)・井原聰(東北大学名誉教授)・西澤晴代(太白区)・平尾伸二(長町アクション)・松原くに子(女川から未来を考える会)・山岸澄江(ケアステーションいずみ)・小林康浩(作曲家)・太斎義明(きらきら発電)・千葉勝利(女川原発の廃炉をめざす泉区西部の会)・谷関恭子(メタルアーティスト)

(呼びかけ人・賛同人には故人になられた方もおられますが、生前の意思を尊重しそのまま掲載します。)

脱原発仙台市民会議 連絡先

981-3215 仙台市泉区北中山3 - 17 - 12

電話・FAX 022 - 379 - 3777

<http://datugenpatu3777.jimdo.com/>

入会金千円、現在会員 300 名・24 団体